

学校が再開しました

久しぶりに、元気な児童の声が学校に戻ってきました。全国的には、非常事態宣言の延長が決まったところですが、鳥取県の方針を受けて、湯梨浜町では可能な限り感染リスクを低減させるための取組を行いながら、学校を再開させることになりました。

今日は5月の全校朝会でしたが、このような状況でもあり学校放送を使った集会にしました。そこで子どもたちに話した内容を紹介します。

皆さんおはようございます。今日から学校が再開しました。今朝皆さんの明るい挨拶や元気な声が久しぶりに聞けて本当にうれしく思います。

新しい学年となり、新しい友達や担任の先生と出会った始業式、6年生しか参加しない入学式にはなりましたが、かわいらしい1年生が羽合小学校の仲間になりました。とても良いスタートが切れたと喜んでいた4月でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、4月27日から学校が2度目の臨時休校となりました。

学校がお休みの間、おうちで過ごすことが多かったと思います。家族で旅行に行ったり、家の外に自由に出たり、友だちと遊んだりすることができなくてストレスを感じていた人も多かったと思います。

学校が始まり、先生たちもまたみんなと勉強できることをうれしく思っています。しかし、鳥取県では感染した人は増えてはいませんが、まだ安心することはできません。これから、予定されていた学校行事がなくなったり、延期になったりすることもあると思います。しかし皆さんの命が一番大事です。引き続き、マスクをつける、毎日体温を計る、空気を入れ替える、手洗いうがいをするなど気をつけて生活してください。

校長先生からのお願いです。学校再開をみんなで喜びましょう。友だちや先生と楽しいお話をしましょう。みんなと一緒に生活できることの心地よさを感じてください。そして1日を、1時間を大切に一生懸命勉強してください。

学校に布マスクが届きました

政府が調達した、布マスク（いわゆるアベノマスク）が学校に届きました。子どもや職員1人に1枚配布できる数です。5月に入りもう一度マスクが同様に届く予定になっています。本日子どもたちに持ち帰らせますのでご活用ください。



湯梨浜町の対応

湯梨浜町では臨時議会が開かれ、新型コロナに係る協議がされると聞いています。湯梨浜町としての対応策や、1人10万円の給付金についても協議がされると思いますが、各校1人10枚の不織布のマスクの配布、消毒液を確保するための予算化に向けた議論もされるようです。マスクや消毒液は品薄状態が続いており、発注してからしばらく時間はかかるようですが、学校に届くのを待ちたいと思います。